

洋書輸入協会会報

VOL. 23
NO. 7

(通巻267号) 1989年 7 月

理事会報告

委員会の再編成

洋書輸入協会理事会

5月30日(火)

(一) 定時総会

松井幸雄氏(丸善)から報告があり、会員へ配布する定時総会報告(案)を承認した。(JBIA No. 567参照)

(二) 委員会

松井氏から予算の関係上再編された委員会の委員長は任期は一年間とすることが提案され、承認された。各会員の意見をきいて、委員会への所属をきめることとした。(JBIA No. 568参照) また事業委員会からはJBIA50周年事業は除くことが提案され、承認された。

委員長は互選により次のとおり決定した。

総務 丸善、会報 極東書店、渉外 ユサコ、広報 第一出版貿易、事業 中央洋書、ダイレクトリー 東光堂、経営研究 洋販、文化厚生 三洋出版貿易

委員会再編の主旨を会員に周知するため会報にこれについての記事を掲載することとなった。

(三) 懇親旅行

44名の申込みのあることが報告された。

(四) その他。

9委員会で構成されていた委員会は、十数年以前に編成されて活動してまいりました。その間、洋書業界をとりまく環境の変動は著しいものがあり、委員会の中には名称・活動事項・目的が現状になじまない面も表面化してきました。先の規約改正を契機に、理事会・総務委員会で長期にわたる討議を行い、再編案を先の1989年定時総会に提案し、可決承認の結果、新委員会が発足したことはご承知の通りです。

新編成は、協会の事業に則した委員会と会員相互の連絡を密にする横の組織の委員会の二つに分かれ、それぞれが有機的に活動することにより、協会の活性化を一層強化することを最大の目的にしております。

従いまして、協会の予算・決算・経理および総務を担当する総務委員会、会報の編集・発行を担当する会報委員会、対外折衝を担当する渉外委員会、内外への広報を担当する広報委員会、事業・催事の企画・運営を担当する事業委員会、ダイレクトリーの編集・発行を担当するダイレクトリー委員会の6委員会を縦の委員会として一部再編成しました。

横の組織として、従来の趣味・同好会を通して会員相

理事会報告……………1	洋書輸入協会史(43)……………4	流通シリーズ
委員会の再編成……………1	文化厚生委員会だより	第3回 国際電子郵便:
海外ニュース……………2	フォーティ・ラブ・テニス・クラブ	インテルポスト……………7
文化厚生委員会だより	報告……………6	広 告……………8
洋書輸入協会懇親旅行……………3		

互の親睦をはかってきた文化厚生委員会に加え、業種別の会員組織としての経営研究委員会が新たに発足いたしました。

理事会では、この委員会再編成により、あらためて新委員長を選任を行いました。会員の皆様に委員として委員会への参加をお願いしておりますが、洋書輸入協会の発展・強化はひとえに委員会の活発な活動如何にかかっているという過言ではないことはご存知の通りです。社業ご多忙とは思いますが、積極的な委員会参加をあらためてお願いいたします。

海外ニュース

「米雑誌価格9.5%上昇」

アメリカで発行されている雑誌3,942点のサンプル調査による価格統計が、「ライブラリー・ジャーナル」4月15日号に発表された。

これによると1989年度のアメリカ雑誌の年間予約価の平均は\$85.37(ソ連翻訳誌を除く)で、前年より9.5%値上りした。1988年度は9.1%、1987年度は9.9%の上昇であったから、アメリカの雑誌の価格は年々コンスタントに上昇しており、しかも一般物価の上昇率を2、3倍も上回っている。

分野別に見ていちばん平均予約価が高いのは化学・物理で\$367.99、逆にいちばん低いのは児童書で\$16.95であった。

(Library Journal、4月15日号より)

「ITOLがLCPを買収」

アメリカの代表的な法律出版社Lawyers Co-operative Publishing Co.は、石油資本をバックとするコングロマリットInternational Thomson Organization Ltd.に総額8億1千万ドルで買収されることになった。この買収金額はM&Aで知られるITOLでも史上最高で、石油資産を売却して調達する由。

この買収は、5月はじめに両社間で基本的合意に達し、6月半ばまでに正式に成立の見込みである。なお、LCP

の子会社Bancroft-Whitney, Research Institute of America, Veralex Inc.もこの買収に含まれる。この子会社も合わせてLCPは、265人の編集陣と482人の営業マンをかかえ、1988年の総売上高は約2億ドルであった。

(Publishers Weekly、5月12日号他より)

「W&N社とグローブ社の合併」

Weidenfeld & Nicolson と Grove Press が合併し、Grove Weidenfeld という新社名のもとで活動を続けることになった。新社の社長は Grove 社のパブリッシャーであった Aaron Asher が就任すること。

なお、両社の親会社は同じ Wheatland Corp. で、そのオーナーのアン・ゲッティは1985年3月に Grove 社を200万ドルで獲得し、その3ヵ月後に W&N 社を設立した。この両社で年に150冊ほどの本を出版してきたが、W&Nの方で大きな赤字を出した模様。Wheatland 社の出版部門の長であったダン・グリーンは退任となった。

(Publishers Weekly、5月19日号他より)

「AAPが輸出部門を強化」

アメリカの出版社は輸出マインドがなく、輸出市場は英国書に席捲されてきたが、これに対抗すべく、米出版者協会(AAP)はこのほどInternational Trade Group (ITG)を設立した。参加資格は、社の国籍や所属協会などにより制限することなくあらゆる出版社に開かれている。

まず、地域別に8つほどの部会を作り、トレード・ミッションの派遣、著作権の保護、共同展示会の開催、各地域のビジネス情報の提供などの活動を開始する。1990年7月ごろまでにこれらの活動を軌道に乗せ、第二段階として、信用調査報告、統計、輸送面の助言や個々のアプローチが困難な地域での共同販促活動、定期的情報誌の発行などを行うことを企画している。費用はメンバーの会費のほか民間や政府の拠金でまかなうとのこと。

(Publishers Weekly、5月5日号より)

—(株)紀伊國屋書店提供—

洋書輸入協会懇親旅行 熱海

西日本では梅雨入りが告げられた6月9日～10日、恒例の懇親旅行を熱海のホテルニューアカオで催しました。

今年はゴルフコンペとテニスを設定いたしましたが、あいにくの雨と霧でゴルフは中止（せっかく早朝に来たのだからと、雨と霧のなかをラウンドした1組があったそうですがハーフで打上げたとか）、幸いこのホテルの特徴である早朝のチェックインを利用して雀卓を囲んでの一戦に早変わりとなりました。テニスの方は雨にもめげず雨中のプレイを楽しんだとのことでした。

定刻には参加者全員ホテルに集合、のんびりと大浴場にひたったり、無料サービスのコーヒーを飲みながら普段にはないくつろいだ雰囲気でご宴会までの数時間を過ごしました。

開宴まえに広間に集まって記念撮影のあと、理事長代理丸善の棚橋取締役の挨拶、紀伊国屋書店、吉本常務の乾杯で開宴、熱海の奇麗どころのお酌でしばらく歓談の後、例年のごとく、文化厚生委員会副委員長、東亜ブック 鶴氏と大洋交易、和田氏の名司会でカラオケの競演となり、おもわぬ美声に驚いたり、感心したりで出演者には参加賞が司会者より手渡されました。

このホテルニューアカオは熱海駅より車で10数分の錦が浦の近くにありなかなかの景勝地ですが、宴終えて後熱海の市街地まで繰出した何人かがおられた様ですが、その他は麻雀、囲碁、将棋に夜おそくまで親睦の闘いを続けました。

翌朝は豪華なメインダイニングでバイキングの朝食の後、自由解散となりましたが生憎の雨のため、ホテル自慢の庭園を散策するにも出足をくじかれ、再び麻雀や囲碁を楽しんだり、チェックアウトが1時というのを利用して、部屋で普段なかなか出来ないのんびりした気分でご談笑に時間を過ごしたり、寛いだ気分でご2日間を過ごしました。

今回は昭和59年の箱根・強羅に次いで2回目の現地集合、現地解散とし46名の御参加がありました。自由行動の気楽さと、やや物足りなさを感じられた方もあるかと思いますが、この度の企画についてのご意見、ご感想、今後の企画についてのご希望等がありましたら事務局にお寄せください。次回からの参考にさせていただきます。

（三洋出版貿易 武田記）



洋書輸入協会史 (43)

洋書輸入協会顧問 相良廣明

51 書籍及び定期刊行物の自動承認制包含範囲拡大の運動（前回よりの続き）

51.3 範囲拡大の陳情に対する大蔵省、通産省の反応

昭和31(1956)年6月5日に提出した頭記に関する陳情について、更に6月26日、大蔵省税関部及び通産省の関係各担当官と理事全員出席の上で会談の機会を持つことができた。

席上、同業会側から詳細を説明し考慮方を申し入れたが、その席の雰囲気としては、同業会側要望の8品目をA・A（自動承認制）に含めると、これらを悪用されることも考えられるとの意見が伺えたようである。従って、これら全部を許可されることは困難であろうと、同日付海輸第127号で会員に伝えている。

この件は、同年9月11日の同業会懇談会の席上でも討議されたが、当日出席を願った大蔵省の松崎事務官及び通産省の宮島係長よりは、「書籍及び定期刊行物の輸入手続きは、特別な取り計らいになっているため、間違いないよう、くれぐれも良心的な取り扱いをするよう」要望がなされている（昭和31年9月12日付、海輸第153号）。

即ち、大蔵省、通産省としては、範囲拡大に対する懸念を表明したものといえよう。

果して、10月1日付の通商公報第2,145号に発表された書籍及び定期刊行物を含む輸入公表（自動承認制）では、その範囲は全く拡大しておらず、改正は実現していなかった。

51.4 再度の陳情

昭和31(1956)年は、範囲拡大について何の成果も得られなかったのが、昭和32(1957)年は、正月早々からこの件に取り組むこととなった。先ず、範囲拡大の要望に、8点もの品目を並べたのはあまりにも盛沢山にすぎたという反省を踏まえ、これを絞り込もうとする作業から始めている。

その結果、3月15日の同業会懇談会で3点に限定する旨を提案し、理事会一任の承認を得て、3月20日に次の

ような構成で再度の陳情書を提出している。

記

通商産業大臣 水田三喜男殿

昭和32年3月

海外出版物輸入同業会

書籍及び定期刊行物品目中に包含要望書

左記3点は、その性質、用途とも全く書籍及び定期刊行物として取り扱われるべきものと思料致されますので、これを含めてA・Aにて輸入御許可賜われます様、特別の御高配をお願い申し上げます。

商品番号	品目
------	----

892-0140	マイクロカードによる文献
----------	--------------

(理由) マイクロフィルムによる文献と全く同じもので、写真を反射倒影により読むものですから、書籍と同様と思われます。

892-0920	絵及び写真と共に印刷されたカレンダーとアルマナック
----------	---------------------------

(理由) 例えば ALPINE CALENDAR、ART CALENDAR、PHOTOGRAPHIC ALMANAC、ESQUIRE CALENDAR (ESQUIRE誌の附録カレンダー) の如き、外国では定期刊行物として取り扱っておりますので、これらも含められたいと思います。

891-0220、0230、0240	文学、詩、劇、論文等を特定人が吹き込んだレコード
--------------------	--------------------------

(理由) これらのレコードは、語学学習用レコードと同様、語学の抑揚の研究に使用されるもので、これも含めらるべきものと思われます。 (以上)

51.5 書籍及び定期刊行物のA・A包含範囲に、織物見本帳が入る

昭和32年(1957)年4月2日付の通商弘報で、第3回輸入公表(A・A制)の発表が行われたが、これによると、織物見本帳が新たに書籍及び定期刊行物の範囲に含まれていた。そして3月20日提出の要望書所載の品目は全く含まれておらず、同業会一同意外の念を持った次第であ

る。また当時の同業会会員には、これを扱っていたところはほとんどなかったと思われる。

織物見本帳が、どのような経緯で書籍及び定期刊行物のA・A包含範囲に入ったものかは、何も伝えられていない。しかし結果論としては海外出版物輸入同業会の中に、全く新しい商品を取扱うメンバーが加入し、同業会の幅を大きく広げるメリットを生ずることとなった。

51.6 織物見本帳をめぐる諸問題

織物見本帳を書籍及び定期刊行物の範囲に含めた結果、官庁側にも種々の問題が提起されたようである。例えば次の税関広報記載の記事は、同業会側の疑義にも或る程度答えているので、要点のみを転記して参考としたい。

記

Textile Pattern Collection of Novelties (新型織物生地参考帳) の取扱について

首題の件につきA税関長より、別紙(1)のとおりりん議があり、別紙(2)のとおり回答したので御了知ありたい。

昭和32年5月

(別紙1)今般〇〇産業から、郵便により輸入した物品について輸入承認証の裏書きを求められた。本品は海外市場で流行している各種の生地をとり揃えて1冊に集録し、定期的に発行したものであって、その発行所、年間部数、価格等は種々のものがあり、購入者はこれによって世界各地の最新流行の傾向を察知し、新しい織物の製作、企画等に利用するものである。

このような物品が無検査で通関されたことは、本品の郵送形式が印刷物扱となっていることに原因があるので、今後は、輸入者がI/Lを取得してこのような物品を発注したときは、直ちに外郵出張所に必要事項を届出させる他、所要の措置をとり、これら物品の無検査通関を極力防止する所存であるが、今後輸入される分の取扱についても、下記の諸点に疑義があるのでりん議します。

記

(1) 関税定率法第14条第6項の適用について

本品は、商品の「見本」ではなくして「商品」自体であるから、免税の対象とはならない。

(2) 適用税番について

本品に貼付された織物は小片にすぎないが、「ぼろ」として使用するものではなく、まして織物としての本来の用途には全く供し得ないから、税番第944号又は945号を適用することは全く困難である。

また、全体として書籍状を構成しているが、社会通念上印刷物と観念されないので、別号に掲げざる製品として第1,749—2B号を適用する。

(3) 一略—

(別紙1以上)

(別紙2) 主税局長回答

りん議のあった首題の件については、下記の理由により、一種の商品見本と認めて関税定率法第14条第6項を適用することとし、また、輸入税表番号及び輸出入統計品目番号の適用については、それぞれ第1,749号2Z従価20%及び899—9999を適用することとしたから御了知ありたい。

—中略—

記

(1) 免税扱とする理由

本品は最近の各国における各種織物を、一定の分類体系に従って分類編さんし、定期的に発行されるもので、そのもの自体注文取集め又は製作注文の目的を持ったものではないが、国内織物業者等がこれにより新製品の意匠、織柄などの参考とするための一種の参考見本と見ることができ、かつ、その他の用途は考えられないので、関税定率法第14条第6項を適用するのが適当である。

(2) 輸入税表番号及び輸出入統計品目番号の適用について

本品は台帳に織物の截片をはり付け、余白に番号を打ち、又は簡単な説明を印刷したものもあって、定期的に発行されるところから、一種の定期刊行物と見る説もあるが、説明のついているものは少く、また、その説明も極めて簡単なものであって、刊行物と見るのは適当でない。

また、本品の主要な部分は織物であって、紙は支持物に過ぎないから、別号に掲げない織物と見る説もあるが、この織物の面積はあまりにも小さく、織物としての用途は全くないものといってよく、従ってこれをその他の織物と見ることも当でない。

また、一方統計面から考えると、このものが非常に

高価なものであるため、分類するところによっては貿易統計上混乱を起す可能性もあるので、「別号に掲げない製品」に分類するのが最も便宜である。

以上の観点から、本品は織物及び紙のいずれをも主と認め難いものとして、輸入税表番号は第1,749号2 Z、輸出入統計品目番号は899—9999に分類するのが適当である。

(別紙2以上)

51.7 範囲拡大運動一時中断

昭和32(1957)年5月22日の同業会定時総会では、成果を得られなかった同運動の過去一年間を、次のように振り返っている。

即ち、書籍及び定期刊行物は、A・A制による資金割当の中で、最優先に考えられている。そのために、各方面の業界から、例えば壁紙など、印刷されているから印刷物に入れるべきであるなどと、次々と要求が出てきている。これでは官庁側も判断に苦慮し、事態が行き詰ってくるのも当然であろう。これを打開するためにも、もう一度検討し直し、関連官庁と打ち合わせた上で、改めて立案したい。

こういう次第で、範囲拡大の運動は一時中断し、昭和34(1959)年に改めて請願書が出され、昭和36(1961)年によく目的を達するという事となる。この経過については稿を改めて取り上げることとしたい。

(続く)

文化厚生委員会だより

フォーティ・ラブ・テニス・クラブ (テニス同好会) 報告

5月27日(土)、午前6時半。今年は残雪がかなり多い“富士山”が車窓を右から左へ位置をかえ、山中湖畔に近づくにつれてオゾンを含んだ空気が一段と美味しくなってくる。昨日までの天候不順もうそのように、電光掲示板が「12℃：無風」を告げ、絶好のテニス日和。フォーティ・ラブは常に天気に恵まれるという幸運がまた裏書きされた爽快な初夏の早朝である。朝食中に一団の黒雲が撒水車のようにコート周辺の深緑を潤して通り過ぎて

いった。

こんな素敵な、初夏も間近い5月27日(土)と28(日)の2日間、山中湖畔ロッジ花月園で“春の定例合宿”が行われました。初めは球足の速いコートに少々戸惑いながらも、20—30分後にはすっかりボールに食らいついて、スピン、スライス、ドロップショット、ロブを、クロスにストレートに、秘術(?)の限りを尽し、デュースを繰り返すあたりは正にプロ級(?)のゲームと自己満足に頬を紅潮させているメンバーもチラリホラリでした。本当に皆一応に腕をあげている今日此の頃です。

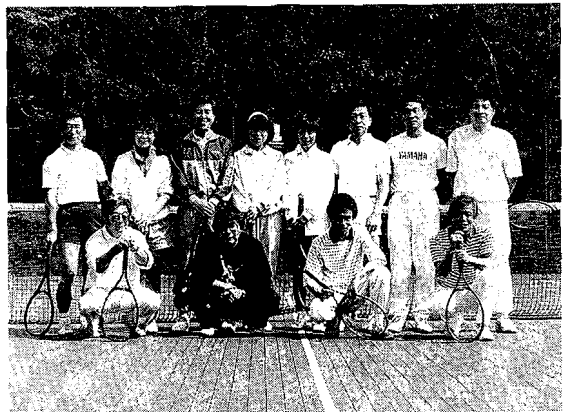
翌朝は殆んど全員が7時からの朝練を楽しみに早くから起きだして、朝食前爽やかな一汗を流しました。その汗のためかどうかわかりませんが、二人前の朝食をペロリと平げる中年プレーヤーもいて、楽しい2日間が無事終了しました。

健康であることが、こんなにも素晴らしいことなのかと再確認した春の合宿でした。次回は夏の日合宿です。初心者の方々も奮って参加されるようお待ちしております。

“A bad workman blames his tools.” ラケットのせいばかりしないで一緒に腕を磨きませんか。

最後になりましたが、何時もタイトなスケジュールを押して、クラブの発展に力をそそいでくださっている三省堂の平野さん、マイブックサービスの村上さん、マクミランの出口さん他幹事の方々に、全クラブ会員の心からの“ありがとう”をお伝えしたいと思います。

(R. A. 記)



(第3回) 国際電子郵便：インテルポスト

国際化時代、スピード時代のいま、海外とのコミュニケーションにも迅速さが求められています。このニーズに応じて誕生したのが国際電子郵便：インテルポストです。郵便事業のもつ国際的ネットワークとファクシミリ伝送のメリットを組合わせた、最も速く、しかも多量、多様の情報を送ることの出来る国際的郵便サービスです。以下その特徴、メリット、利用法などを列記すると、

(A)多様な情報伝達：

アルファベットに限らず、漢字、ひらがな、図表、イラストなど、そのままの形で送信。手書きデータもそのままO.K.

(B)こんな時に便利：

海外取引先、支社などへの資料、文書、デザイン画、設計図などの緊急送付。海外在住の親戚、縁者、知人への慶祝メッセージ等々。

(C)海外へ高速配達：

引受けた国際電子郵便は、ニューヨーク、ロンドン、パリなどの世界の主要都市は、引受けと同日付で届きます。(一部地域および夕刻引受けのものは翌日配達。)

(D)経済的な料金：

別表の通り、日本のオフィスと海外のオフィスで、お互いのファクス・パソコンで直接通信するより、通信

料は、はるかに経済的です。

(E)簡単な利用方法：

めんどろな届け出などの手続きは一切不要。全国の普通郵便局で利用出来ます。

(F)郵便局へ行かないで利用することも出来る。：

あらかじめごく簡単な手続きさえすれば、手元のファクス、パソコンから直接出す事も可能です。

(G)安くて得な「ミニインテル」：

あて名用紙とメッセージ用紙がA4サイズ一枚になったショートメッセージ用のインテルポスト。世界中37ヵ国どこへ出しても均一料金1,200円。

国際電子郵便インテルポストは、現在37ヵ国へ送信出来ます。配達区域は国によって一部制限があるものの、ほとんど全域です。差出し方法も単純で、国際電子郵便専用の宛名用紙に、差出人、受取人の住所氏名を書き、送信する文書、資料などを国際電子郵便差出専用封筒に入れ、これらをインテルポスト取扱い窓口へ出すだけで完了です。

インテルポスト取扱国および料金は次の表の通りです。

(本稿は、神田郵便局セールスマネージャー 磯 武男氏によるものです。)

インテルポスト								
枚数	名あて 地域	アジア	オセアニア	北米	中近東	ヨーロッパ	アフリカ	南米
		韓 国 シンガポ ル 中 国 香 港 マ カ オ マレーシ ア	オーストラ リア ニ ュ ー ・ ジーランド パプ ア ・ ニューギニ ア	米 国	イスラエル カ タ ル サイプラス サウディ・ アラビア ト ル コ	アイスランド、英国、オース トリア、オランダ、ギリシャ、 スイス、スウェーデン、スベ イン、デンマーク、西ドイツ、 ノルウェー、ポルトガル、フィ ンランド、フランス、ベル ギー、リヒテンシュタイン、 ルクセンブルグ	エジプト 象牙海岸共 和国	アルゼン ティン ブラジル
1 枚目		1,900円	2,200円			2,400円		
2枚目から1枚ごとに		800円	900円			1,000円		
ミニインテル 世界均一 1,200円								

The ultimate reference work in anatomy!

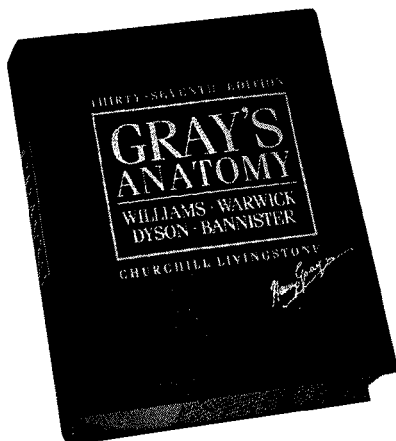
THIRTY-SEVENTH EDITION

GRAY'S ANATOMY

Edited by:

PETER L. WILLIAMS
MARY DYSON

ROGER WARWICK
LAWRENCE H. BANNISTER



■最も広く読まれ、多くの医学生や医師に不可欠のレファレンスになっている解剖学書の定本、『グレイ解剖学』第37版。以前の2つの版では構造と機能を統合し、成熟した構造を発達、進化、動態の側面から考察、さらに細胞学的、分子的レベルまで論及したが、新版ではこの特徴を一層深めて、生体を形づくっている生理—化学過程の密接な関係を強調している。

■細胞生物学と微小解剖学を詳しく解説し、CTやMRI、超音波画像、形成外科における皮弁の利用等、新しい知見を収録して全面的に刷新している。第37版ではさらに放射線解剖と断層解剖学を拡充、細胞生物学の一部に関連する部位と統合して記述した。また創傷治癒と組織修復に関するセクションと解剖学の発展に関するセクションを追加している。

●1,598 pp. 2,000 figs. 37th ed. 1989 ¥23,800 (価格は消費税抜きです)

Churchill Livingstone, Edinburgh

日本総代理店 医学書院洋書部



IGAKU-SHOIN Ltd.
FOREIGN BOOK DEPT.

〒103 東京・文京・本郷1-28-36 鳳明ビル ☎東京(03)817-5670~1

1989年7月 通巻第267号 洋書輸入協会 編集者 柴田 三夫

☎ 103 東京都中央区日本橋1丁目21番4号 千代田会館5階20号室 ☎271-6901 FAX.271-6920

☎ 530 関西支部 大阪市北区芝田1-10-2 第一山中ビル ☎371-5329